

2023. 11. 27

NEWS RELEASE 【報道者各位】

インターネット・アカデミー株式会社

日本初「Python 3 エンジニア認定実践試験」に対応した認定研修プログラム 「Pythonプロフェッショナル研修」を提供開始

IT・DX人材育成のための法人研修サービスを提供するインターネット・アカデミー（本社：東京都新宿区、代表取締役：西 洗人）は、新しい研修カリキュラムとしてPython 3 エンジニア認定実践試験対応の「Pythonプロフェッショナル研修」を11月27日より受付を開始することを発表いたしました。認定スクールが提供する、同資格試験に対応した研修プログラムとしては、インターネット・アカデミーが日本初となります。



■「Pythonプロフェッショナル研修」実施の背景

AIや機械学習、ビッグデータやデータ分析、各種自動化、Web等で中心的に使われているPythonは、現在、社会人エンジニア、学生エンジニアで一番利用されているプログラミング言語となりました。このPython普及期に備えて、多くの企業が実践的にPythonを使えるエンジニアを今以上に育成することが考えられ、この度、インターネット・アカデミーは本研修コースを開催するに至りました。

一般社団法人Pythonエンジニア育成推進協会 代表理事 吉政忠志氏は「認定スクールであるインターネット・アカデミーがPython 3 エンジニア認定実践試験対応「Pythonプロフェッショナル研修」を開始されたことを心から歓迎いたします。市場では基礎レベルの文法知識を持ったエンジニアが数多く育成されていますが、いよいよ本格的なPythonの普及期を迎える今後は、実践レベルの知識を持ったエンジニアの育成が求められます。当協会は引き続きインターネット・アカデミーを支援し、より多くのPython人材の育成に尽力いたします。」と述べています。

■講座概要

講座名：「Pythonプロフェッショナル研修」

対象：Pythonを実践レベルでコーディングできる人材を育成されたい方

時間数・日程：20時間（5時間×4日間程度※）

※カリキュラム内容や時間数のカスタマイズができますので、お気軽にご相談ください。

※開催日程は貴社のご要望をお伺いしご提案いたします。

受講料金：参考例として10名様一括受講の場合お一人様あたり150,000 円（税別）となります。ご予算にあわせてのご提案もできますので、お気軽にお問い合わせください。

受講前提：インターネット・アカデミーが提供する「Pythonプログラミング研修」を受講された方やPython 3 エンジニア認定基礎試験同等の知識を有することが望ましい。

対応試験：Python 3 エンジニア認定実践試験

到達目標：

- ・ Pythonを実践的に使っていく上で重要な仕様やライブラリの使い方をマスターする

カリキュラム

#	項目	内容
1	Pythonの環境	<ul style="list-style-type: none">● 環境設定の概要● Pythonのパッケージ管理● 仮想環境の作成
2	Pythonコーディング規約	<ul style="list-style-type: none">● スタイルガイド PEP8とは● 静的コード解析ツール Flake8とは● ソースコード整形 Blackとは
3	Pythonの言語仕様	<ul style="list-style-type: none">● 例外処理● with文● 関数の引数● アンパック● 内包表記● ジェネレーター式● ジェネレーター● デコレーター
4	Pythonのクラス	<ul style="list-style-type: none">● class構文● 属性とメソッド● 継承● dataclass● オブジェクト関連関数
5	タイプヒント	<ul style="list-style-type: none">● タイプヒントとは● タイプヒントの活用例● 静的タイプチェック
6	テキストの処理	<ul style="list-style-type: none">● 文字列操作● フォーマット● 正規表現● Unicodeデータベースへのアクセス
7	日付と時刻の処理	<ul style="list-style-type: none">● 日付を扱う● 時刻を扱う

		<ul style="list-style-type: none"> ● IANAタイムゾーンデータベースを扱う ● datetimeの強力な拡張モジュール
8	データ型とアルゴリズム	<ul style="list-style-type: none"> ● ソート ● コンテナ型 ● 二分法アルゴリズム ● 列挙型による定数の定義 ● データを読みやすい形式で出力する—pprint ● イテレーターの組み合わせによる処理の組み立て ● ミュータブルなオブジェクトをコピー
9	汎用OS・ランタイムサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● OSの機能を利用する ● ストリームを扱う ● インタープリターに関わる情報の取得と操作 ● コマンドラインオプションと引数
10	ファイルとディレクトリへのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> ● ファイルパス操作を直感的に行う ● 一時的なファイルやディレクトリを生成 ● 高レベルなファイル操作 ● gzip圧縮ファイルを扱う ● zipファイルを扱う ● tarファイルを扱う ● Pythonオブジェクトをシリアライズする
11	特定のデータフォーマットを扱う	<ul style="list-style-type: none"> ● GSVファイルを扱う ● JSONを扱う ● INIファイルを扱う ● YAMLを扱う ● Excelを扱う ● 画像を扱う
12	インターネット上のデータを扱う	<ul style="list-style-type: none"> ● URLをパースする ● URLを開く ● ヒューマンフレンドリーなHTTPクライアント ● Base16, Base64などへのエンコード ● 電子メールのデータ処理
13	テスト	<ul style="list-style-type: none"> ● 対話的な実行例をテスト ● ユニットテストフレームワークを利用する ● モックを利用してユニットテストを行う ● 高度なユニットテスト機能を利用する ● ドキュメント生成とオンラインヘルプシステム
14	デバッグ	<ul style="list-style-type: none"> ● 対話的なデバッグを行う ● コードの実行時間を計測 ● スタックトレースを扱う

		<ul style="list-style-type: none"> ● ログを出力する
15	暗号関連	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全な乱数を生成する ● ハッシュ値を生成する ● 暗号化ライブラリ

▼詳細とお申し込みは以下のページよりお願いします。

<https://www.internetacademy.co.jp/news/news-info/202311271.html>

■インターネット・アカデミーについて

インターネット・アカデミーは日本で初めてのWeb専門校として、1995年9月に開校しました。以来、母体がWeb制作会社であるという強みと、トライアングルビジネスモデルに基づいたグループ企業との連携を活かし、即戦力となる人材の育成に取り組んでいます。また、2000年にWeb技術の標準化を行う世界最高位の団体「W3C(World Wide Web Consortium)」のメンバーとして日本の教育機関で初めて認定を受け、世界的な最先端技術の普及活動にも貢献しています。

現在は、その活動の場を日本のみならず世界的に展開し、アメリカはボストンとニューヨーク、そしてインドのIT都市であるバンガロールに研究開発拠点を設立。人材育成はもちろん、WebアプリケーションやVRコンテンツ、システム開発の受注制作など、ITに関する幅広いサポートビジネスをグローバルに展開することで、各国の企業ニーズやビジネスノウハウを共有し、さらにその情報をもとにカリキュラム開発などの教育事業に活かしています。

■会社概要

学校名：インターネット・アカデミー

学校長：大岡和雄

顧問：一色正男

神奈川工科大学 研究推進機構 特命教授、W3C/Keio元サイトマネージャ、先進技術研究所 所長、スマートハウス研究センター所長、経済産業省スマートハウス・ビル標準・事業促進等検討会 HEMSタスクフォース座長、情報処理学会フェロー、ほか

所在地：

【新宿AVENUE校（新宿本校）】東京都新宿区新宿2-5-12 FORECAST新宿AVENUE 10F

【新宿 法人研修・資格試験センター校】東京都新宿区新宿2-5-15 新宿山興ビル2階

社名：インターネット・アカデミー株式会社

創業：1995(平成7)年9月12日

従業員数：約 100名（連結）

■お問い合わせ先

インターネット・アカデミー <https://www.internetacademy.jp/>

担当：花井

電話：03-3341-3781

メール：director@internetacademy.co.jp